

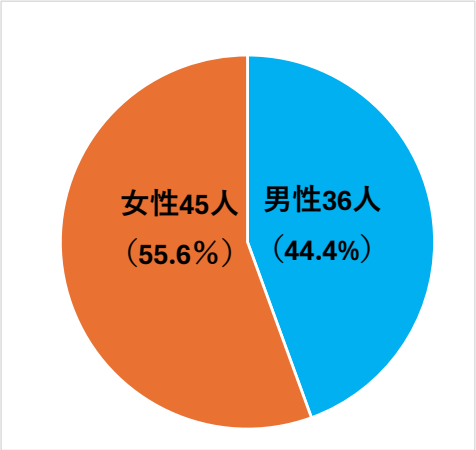
令和8年7月29日開催 令和8年度小樽市認知症講演会 参加者アンケート結果

回答数：参加者90名中81名回答（回答率90.0％）

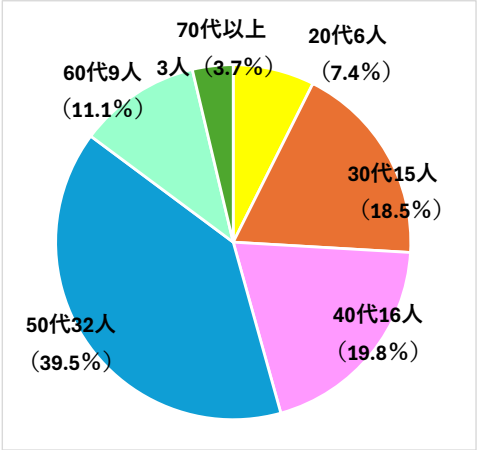
回答方法：①＋②の方法で回答を協力依頼

①講座終了後、出口アンケート回収箱に投函・回収、②アンケート用紙に印字のQRコードから回答フォームに入力

1. 参加者の性別



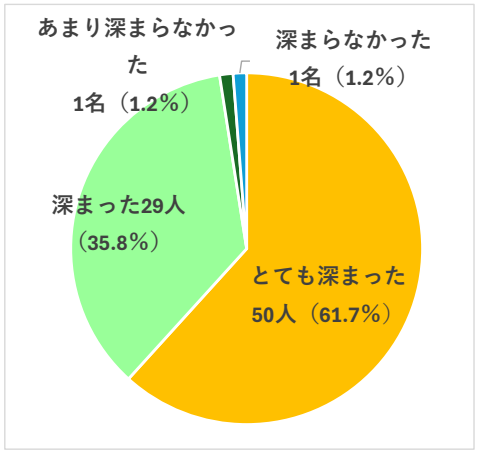
2. 参加者の年代



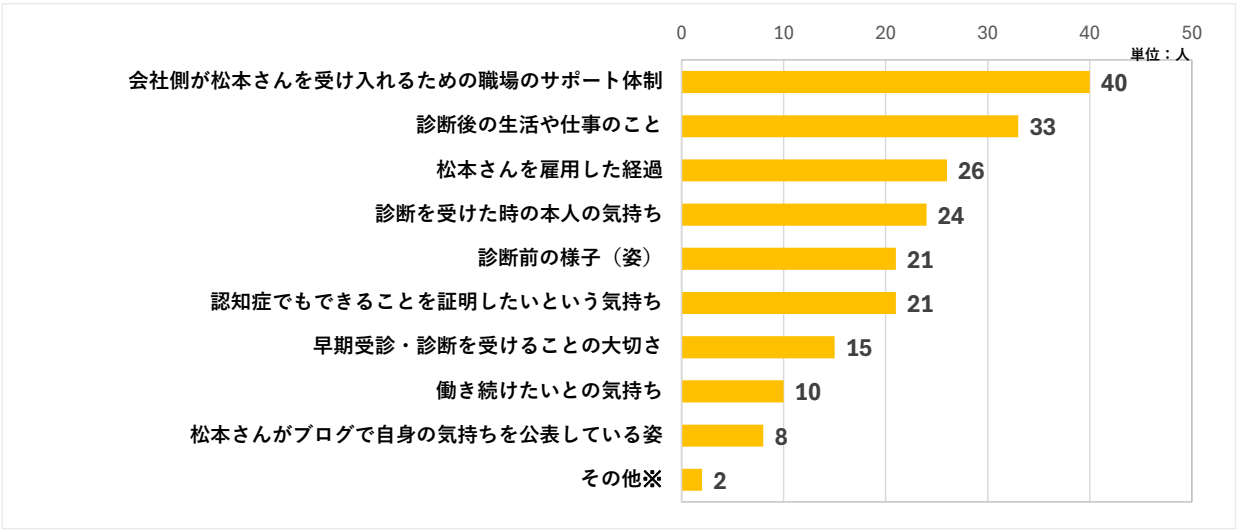
3. 参加者の業種

業種	人数	%
宿泊業・飲食・サービス業	6	7.4
金融・保険業	5	6.2
製造業	5	6.2
電気・ガス・熱供・水道業	3	3.7
不動産業・物品賃貸業	1	1.2
建設業	5	6.2
教育・学習支援業	1	1.2
運輸業・郵便業	2	2.5
医療機関	7	8.6
介護福祉・地域包括支援センター	7	8.6
行政（市役所・保健所）	11	13.6
その他 1（行政書士・税理士・専門サービス）	3	3.7
その他 2（回答なし）	25	30.9
	81	100.0

4. 講演を聞いて、認知症についての理解は深まりましたか？



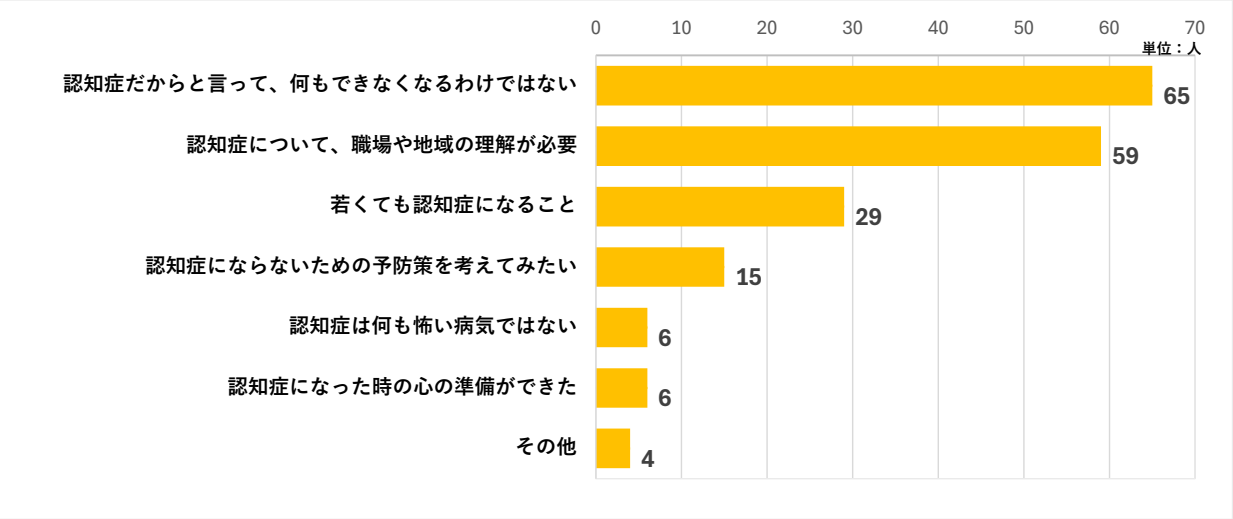
5. 講演でもっとも印象に残った内容（3つまで）



※その他の内訳（2件）

- ・情報発信の大切さ
- ・松本さんが新しいこと（オレンジネット）にチャレンジしたいと前向きな気持ちでいらっしゃることに感銘を受けました。

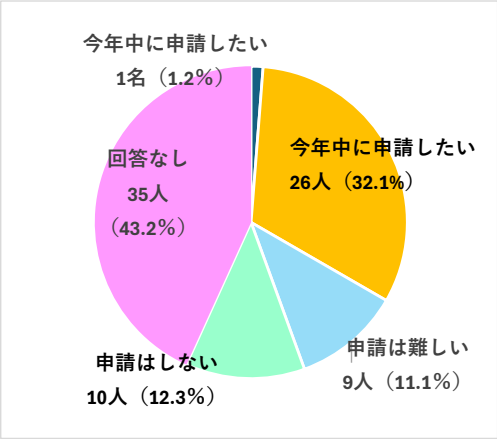
6. 松本さんの講演を通じて、本日の姿を見て感じたこと（3つまで）



※その他の内訳（4件）

- ・夢を持って活動されている姿
- ・ポスター写真より若く見える
- ・周りへの理解と、社会参加
- ・できない所を上手によりそうことで、松本さんも自分に自信をもって活動ができるのだと思いました！

7. 「認知症の方にもやさしいお店・登録事業」の申請をしてみようと思ったか



8. 自由記載（感想）

- ・当事者目線での気持ちを直に聞ける機会にはありがたかった。市内の若年性認知症の方、周知等に工夫や積極性が必要と再確認した。
- ・私人としては大変勉強になりました（これは事実です）。ただ企業人としては、シロさんが導入している「具体的な」合理的配慮の話だったり、偶然の出会いや恵まれた資源によるものではない普遍的な話を聴きたかったです。
- ・質疑応答を健常者とかわらない受け答えをしていて驚いた。認知症に程度があるのか気になった。
- ・健診で認知症検査を導入するのはいいなと思いました！
- ・自身や家族がいつかなるかもしてないので、色んな支援を知れてよかったです。ありがとうございました！
- ・優しい時間でした。皆が前向き。
- ・当事者・支援者・企業の3つからお話を聞けたことがとても良かったです。
- ・考えさせられました。認知症は「人生のステージのひとつ」
- ・個人的には深く知る良い機会でしたが、現実として会社が（株）シロのようにできるのかとても難しいと感じました。私も（株）シロで働きたいと思いました。ありがとうございました。
- ・SHIROはいつも使用しているので、会社のこともわかりとても良かった！！認知症の理解は必要ですが、御家族の仕方など、家族の会などの参加など、私も仕事を通して本人家族に良い提案ができるようにしていきたいと思います。
- ・「主治医が松本さんの雇用継続のため、会社と話し合ってくれた」とあったが、若年性認知症のすべてのケースでこのようなサポートが手厚いのか？
- ・認知症の方が身近にいるのが、当たり前になる世の中が近い将来あると思いますが、それまでにもっと早く、認知症についての知識を多くの人々が得られるようにしなければならぬと思いました。非常に良い講演会だったと思います。
- ・本日はありがとうございました。山中忍さんの講演を聞いて、松本さんの講演をした所の参加者がSHIROの工場に来てくれたり、当事者の方が発信・講演活動を行うことが、まわりの方にも良い循環が生まれるのだと思いました。これを聞いた事業所の方が新しい認知症観を持ってくれればと思いました。
- ・かけあいが進む講演がとてもよかったです。ご本人の意欲と社会がうまくつながった例だと思いました。このようなケースが当たり前になるといいと思いました。
- ・松本さんの場合は、本人、大辻さん、福永さん、それぞれの方々の熱い思いと行動力がつながり、今のかたちがあると思いました。素敵な講演会でした。